

2022年6月16日
 南海電気鉄道株式会社
 株式会社京三製作所

和歌山港線における『自動運転実証試験』に向けて 事前準備を2022年7月から順次進めてまいります

南海電気鉄道株式会社(代表取締役社長:遠北 光彦、以下「南海電鉄」)は、株式会社京三製作所(代表取締役社長執行役員:國澤 良治、以下「京三製作所」)と和歌山港線における自動運転に関する実証試験(2023年度から実施)に向けて、2022年7月より順次準備を進めてまいります。

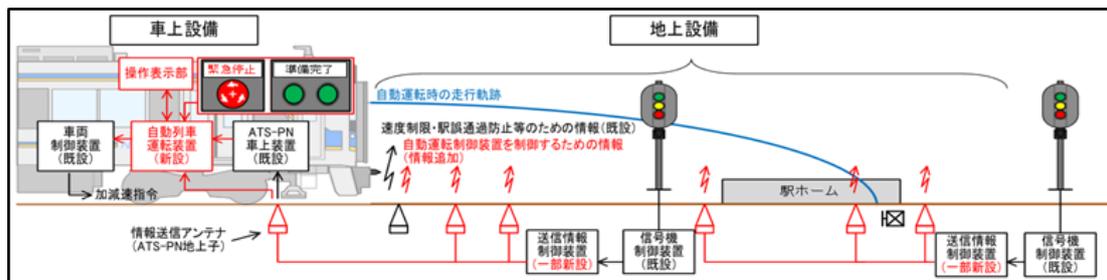
具体的には、自動運転の実証試験に向けて、(1)各種設備を、京三製作所と共同で開発し、車両や和歌山港線へ設置することに加えて、(2)自動運転システムに係わる検討・評価を、関係省庁や有識者で構成する第三者委員会とともに行います。

なお、実証試験の具体的な内容は、決定次第改めてお知らせいたしますが、和歌山港線において、昼夜、試運転車両を用いて、運転士が乗務した状態で、安全性の検証や課題の抽出を目的に実施する予定です。

1. 実証試験開始に向けた準備の内容

(1) 車上設備、地上設備の整備(ハード面の整備)

- ・車上設備として、自動運転を行うための自動列車運転装置と、自動運転を行う車両の乗務員のための操作表示部を新設します。
- ・地上設備として、これまで運転士が確認・判断していた情報(信号機の現示や走行経路情報など)を、車両の自動列車運転装置に伝達するための設備を一部新設します。



(2) 自動運転システムに係わる検討・評価の実施

- ・自動運転を行うための各装置の機能や精度の確認のほか、安全性や安定性、異常時の取扱いなどについて、関係省庁や有識者で構成する第三者委員会による検討・評価を実施します。

2. 準備の開始時期

2022年7月から

3. 実証試験の予定場所

和歌山港線(和歌山市～和歌山港駅 ※営業キロ程:2.8Km)

4. その他

省エネ運転等による「CO2 排出量削減」も目指して、自動運転システムの開発を進めてまいります。

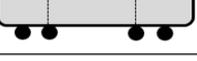
【参考】 現在想定している、2023年度開始予定の実証試験について

1. 実証試験の目的

係員付き自動運転システムの開発に向けた、安全性の検証及び課題の抽出。

2. 目標とする自動化レベル

GoA2.5(係員付き自動運転)

自動化レベル (IEC(JIS)による定義※)	乗務形態のイメージ ([]内は係員の主な作業)	国内の導入状況
GoA0 目視運転	 運転士(および車掌)	路面電車
GoA1 非自動運転		踏切がある等の一般的な路線
GoA2 半自動運転	 運転士[列車起動、ドア扱い、緊急停止操作、避難誘導等]	一部の地下鉄 等
GoA2.5 (緊急停止操作等を行う係員付き自動運転) ⇒IEC及びJISには、定義されていない	 先頭車両の運転台上に乗務する係員[緊急停止操作、避難誘導等]	無し
GoA3 添乗員付き自動運転	 列車に乗務する係員[避難誘導等]	一部のモノレール
GoA4 自動運転	 係員の乗務無し	一部の新交通 等

※IEC 62267(JIS E 3802):自動運転都市内軌道旅客輸送システムによる定義

3. 実証試験の実施予定時期

2023年度予定

4. 実証試験の運営について

昼夜の試運転車両において、運転士が乗務した状態で実施いたします。

※お客さまが乗車する列車では実証試験を行いません。

5. その他

詳細が決定次第、再度お知らせいたします。

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、9番、11番、13番、17番に繋がるものです。



以上